

東京片貝会報

発行所
東京片貝会
東京都港区芝公園2-11-4
電話 (433) 5925

楽しく新年の集いをご案内

昭和56年1月25日(日)

どなた様も希望に満ちて迎年のごこと、お喜び申します。本年の新年会は、会場も趣向も変えて、浅草観音に近いアサヒビールのホールで開催することとなりました。足の便の近くなった方、却って遠くなってしまった方、いろいろな事情は異なりますが、万障繰り合わせ、お誘いあつてお出でくださいませう、お待ち申しあげます。恒例の福引きには、少ない会費の中でいろいろ工夫いたしました。又新春にふさわしく、みんなで大きな輪を作つて、盆踊など興じたいと思つています。皆様のご出演も大歓迎いたします。

同級会だより

十二同志会(大12)

古稀を祝つて、秋祭に十号玉五発揚げたほか、母校へ紅白薨、天幕を寄贈した。亡友の慰霊祭と健康祈願を神社で。来迎寺で懇親会

沼生会(昭2)

渋川で郷里と関東の人達が合流

- 一、日時 56年1月25日(日)午後一時(正午より受付)
- 一、場所 アサヒビル二階ホール(墨田区吾妻橋1・23・1)
- 東武、営団及び都営地下鉄「浅草」下車徒歩五分
- 一、会費 三〇〇円(料理・すし・果物・飲物・福引き)
- 同封返信はがきを一月十七日までにお出しください。

バスで赤城山へ登る。山頂より大沼を見て、草津温泉に下った。ここで懇親会、翌朝は白根山に登つた。美しい樹水、ななかまどの赤い実が印象的であった。片貝から二十名、東京から十名が参加した

竹馬会(昭9)

湯沢温泉を会場にして、柄沢先生を招待して同級会が持たれた。

男子二十五名、女子二十名(このうち東京からは七名が出席した)一同真心に盛り、時の尽きること忘れ語り合った。7月5・6日 緑友会(昭22) 赤倉温泉で。恩師三先生をお招きして盛大に行われた。参加者五十八名という盛会だった。9月4・5日

予告

春の旅行会 4月12・13日(日)月)こんども青鷺荘で七由。遅い桜が観賞できます。詳細は新年会で発表します。どなたもどうぞ22回總會 6月7日(日)予定、会場は未定。どこか適当な会場はございませんか。希望、意見をどうぞお寄せください。

ヤングの集い

来春就職、入学された方を中心に、四月末か五月に開く予定で具体企画を目下検討中です。

秋祭り参加の同級会

- 古稀 十二同志会(大12)
- 還暦 総和会(昭8)
- 五五歳 二天雷雪会(昭13)
- 五十歳 ゆくて会(昭18)
- 四歳 同心会(昭26)
- 三歳 慰十六会(昭35)
- 成人 福寿会(昭48)

新役員を選出

昨年は役員の変更期に当っておりましたが、創立20周年記念事業を遂行するため、一年間延期しておりましたのを、こんどの総会で次のように決まりましたので、ご報告申しあげます。

- 会 長 佐藤量八
- 副会長 相崎勇次、芝 五郎、藤塚栄二郎、相崎善次郎、芝三司
- 会 計 黒崎孝造、山口武一郎
- 理 事 相崎尚次、大矢福次、清水六郎、神林徳次、安達宗吾、三重堀繁蔵、小林敬司、松下利夫
- 青年部 黒崎 勝、浅田良司、藤塚 悟、大塚国夫、諸我時夫
- 監 査 小川茂雄、大矢幸治、高橋四郎
- (組織部を廃し、新理事を設けました。)

二 会の動き

◇東京小千谷会の総会が成増の真珠会館で開催された。例年の通り、市長、市議会議長、商工大会頭などが、小千谷から出席され、盛会だった。佐藤会長も招待を受け参加した。5月25日

◇第21回總會(平和島温泉)二面参照、六月十五日

◇役員会(港区勤労福祉会館) 来る新年会の企画、総会、旅行会、ヤングの集いについて協議した。また21回總會の反省もした。十四名出席

10月19日

◇秋祭りについての会の活動は、関連記事をお読みください。

◇新しい名簿・総会案



上の写真は、新潟県入会七十周年式典で、本会旗が栄誉を受けるところ。旗手は黒崎勝さん。五月、上野精養軒にて。

賑やかに懇親

第21回(6月15日) 平和島温泉にて

今年の会場も平和島温泉ということになった。
初夏の明るい陽光が、会場のふんいきをいっそう盛りあげてくれたのだ。

来賓には別掲のように、郷里からたくさんの方々が遠路ご出席くださったほか、東京小千谷会長、新潟県会からも来ていただいた。

新役員の選出

総会は黒崎 勝さんの司会で、ときはきと進められる。会計報告、事業報告の後、役員の選出に入った。

現在の会則になってから、七年経過したが、そのままの構成で今日に至っていた。しかし世代の若

返りが大切だということ、前からの念願であった。よりより話し合ってきたが、けっきょく一面所載の通りの方々に、新旧織りませてもらいすることになった。今後の活躍を期待したい。

懇親会、賑やかに

このあと来賓各位から、こどもも祝辞をいただいたのち、大先輩高野三郎さんの乾杯で懇親会となった。こちらの司会は、松下利夫さんが手なれた、まことに見事な展開ぶりである。

まず、平和島温泉の提供による歌謡ショーから幕あけとなる。続いて会員諸兄弟の多様な芸能が披露された。まず華麗な日本舞踊は

佐藤正雄、山田利雄、児島良子の三氏。毎回のすばらしい演技には声を吞むばかりである。友田正雄さんが歌う「佐渡おけさ」に、三弦の伴奏をひき受けてくださった会員があり、二人の意気がヒツタリ合っ



・昭和20年卒
高橋四郎、安達保治、太刀川善藏、浅田鉄夫、小宮秀夫、五十嵐アヤ子、本田謙作、山田チエ、山口吉五郎、小野愛子、藤塚吉雄、山賀豊司、松下利夫、山田利雄、五十嵐忠作、浅田 猛、鈴木スヨ、佐藤道雄、城所テル、安達トヨ、小宮幸雄、西山和子、小林重男、友田正雄、小宮二郎、清水ミイ、金井ヨシ子、小宮きよ、相崎富代、新野次朗、山岸慶昭、安達和三、相崎達一、児島良子、豊島文枝、五十嵐キヨ、青柳泰子、大塚順一、小宮トシエ、小野塚茂、浅田良司、横尾ミチエ、後藤イ子、黒崎 勝、小林正雄、小林 勇、山崎英輔



大先輩高野三郎氏(89才)の乾杯で懇親の幕があいた

会を振り返って

お子様をお連れになった方々へは、大矢幸治さんから奇贈の玩具を差しあげることができた。記して謝意を表します。

また、昨年実行できなかった郷里物産(米菓)の特価販売を開いたが、好評をいただいた。

暑かったせいもあり、ジュースが足りなかったり、このほかおもてなしの行き届かない点も、多々あり恐縮でした。でも、皆様が遠くから、この催しに多数ご参加いただいた。心からお礼申します。

尚小千谷市長星野行男、小学校PTA会長安達良一両氏から、丁寧な祝電をいただいた。

当日の来会者

(二二名 敬称略)

協議会長 吉井進吾
市 議 本田善治
小学校長 中俣 昴
中学校長 林 鉄雄
公民館長 吉田一雄
浄照寺 興 様
恩 師 柄沢栄夫、箕輪みね
新潟県人会 入倉 忠
東京小千谷会々長 島山清一

・明治35年卒
高野三郎
・大正35年卒
相崎政弘、松井平助、太刀川藤吉、吉原ヤウ、佐藤正雄、広井三代次、浦部茂子、安部盛治、小林倉三郎、相崎尚次、大矢福次、水内修治、神林徳次、佐藤量八、吉原タケ安達幸吾

建築請負(新築・改修)

大 矢 福 次 (大12卒・屋敷)

中野区弥生町4-25-7
(03-382-1885)

鶴田工務店(建築一般)

鶴 田 国 茂 (大14卒・寺町)

足立区中川1-9-5
(03-601-4476)

藤塚商店(ガソリン・重油卸・小売)

藤 塚 栄 三 郎 (昭4卒・稲場)

墨田区太平4-17-2
(03-625-2935~7)

ふるさと・この頃 郷土通信

スポーツの町・片貝

中学同窓会球技大会
新しく拡張された中学の体育館で、総会を兼ねて開会された。お盆帰りの若者達と懐しい再会で、和気あいあいのうちに、籠球と排球の試合が行われた。毎年実施されている。
籠球では双葉会、排球では一般



B組が優勝した。会から祝電をさしあげた。(8月16日)

町民大運動会

当日雨天のため、中学体育館で開催された。出場種目は屋内むぎのものに限定されたものの、一日中館内は湧き返っていた。中でも綱引に、番熱がこめられた。八町内参加のうち、三位までは次の通り三の町が連続三年優勝、二位鴻巣3位の町の順であった。(10月19日)



読書会風景

町民駅伝大会

今年のはじめの企画として登場したもの。
小・中学生から一般も参加して十二チームが五人一組で12軒を走った。まず支所をスタートして、鴻巣、山屋、町裏を経て、町に出八島の安達医院で折り返して、支所前でゴールした。好天に恵まれ町民の熱のこもった応援が、秋空にひびいた。一位は中学Aチームで、それぞれ優勝杯と旗が授与された。(11月9日)

中越地区中学籠球大会

母校が会場で開会された。長岡小出、見附、小千谷、加茂、十日町、大和、栄、三条から十二チームが参加した。片貝中は第三位のよい成績だった。(11月16日)

文化活動いろいろ

緑陰図書館
市の図書館が車で出張して、夏休みの児童を対象に読書会が開かれた。浅原神社の境内で。町内のボランティアが、読みかきせをし

写真
町民大運動会
左、駅伝大会スタート



たりして、なかなか有益だった。百名を越す児童や母が参加した教育感謝祭(第9回)
(8月6日)
仲使山遊山台で、浄照寺さんにお経を上げてもらって、執行。
城址等管理委員長、協議会、公民館、市議、小中学校長、商工会など十五名の方が出席された。(10月6日)

総合文化展
昨年は公民館が会場であったが本年はふるさと会館で、大々的に

豪華けんらん

祭りは八日の民謡流しの前夜祭から幕が開く。一之町から五之町へと、町を踊り続ける。
九日の朝、八島を出発する筒引きは、古式に則り、一之町まで、練り歩く。こうして、浅原神社の秋の大祭が始まるのである。
夜は花火の打ち揚げとともに、しゃきりコンクールが行われる。本年は大若、小若とも一の町が、第一位であった。

開かれた。よい天候に恵まれ、二日間で千数百人の参観者で溢れた内容の大様は左の通り
○会館前庭一錦鯉が研を競う。幼鯉も即売され、子どもに人気があった。
○一階ロビー一輪菊と盆栽
○研修室一写真展、魚沼線開通時の珍しいものから、風景、スードなど多彩
○二階ホール一郷土の歴史的古文書、民具、書画、陶器、人形が所狭しと陳列された。
○和室一茶席の接待
(11月2、3日)

良寛めぐり
浅田壮太郎先生を講師として、五合庵、寺泊を中心にマイクロボスで見学した。(11月16日)

敬老会
小学校の屋内運動場で。協議会と農協婦人部が、設営と接待に当った。民謡踊り、詩吟、保育所の幼児の歌や遊戯などで、賑かにお年より達を慰勞した。(10月10日)

ことしの秋祭り

十日は屋すきから、小学生による鼓笛隊の行進が、町々をどどろかせ、みんなの心をいやが上にも浮きたたせる。
一時から、新しく完成された花火の観覧席の竣工式がとり行われた。本会の佐藤会長も参列して玉串を捧げた。
式典の終わった二時に、本邦最初を誇る屋の三尺玉が、いとも鮮やかに、美しく空を彩った。

改築される 浄照寺

同寺が蒲原方面から移ってきたのが元名一年というから、三百六十余年前のことになる。しかも、今の庫裡は百四十年前のもので、今改築中である。年内には完成の予定。一階は鉄筋コンクリート造り(車庫、浴室、台所など)、二階は木造、三階が冠婚葬祭用の諸室、三階が住職家族の住居となっている。延百十六坪。予算は三千六百万円で、檀信徒及び法縁者の寄進を仰いでいる。
檀徒総代安達基吉氏は、法縁ある多くの方々の芳志を望むとともに、祖霊を供養して、いっそうの仏縁を深めていただきたい……と話されていた。

相撲場では、すでに熱戦がくりひろげられていた。午後からしとしと小雨が落ちてきて、いまひとつ盛り上がりが見えないのが、いかにも残念、会からは例年通り五人抜きに賞金を提供した。
夕方近く雨もあがり、すばらしい花火とともに、境内は人、人で埋まった。これだけの規模しかない町で、こんなに華麗な花火を揚げるのは、ただ驚嘆のほかはないと、始めて訪れた人が語っていた。三尺玉は屋のと合わせ、毎夜一発ずつ、三本が揚げられた。
とにかく今年の秋祭りも、けんらん豪華のうちに、幕を閉じた。
小千谷市の祭りは8月25日である。片貝からは、ドラエモンの妹ドラミちゃんが出場した。また方灯も立派で特に小若連のしゃきりが大好評を博したとのことである

工業デザイン模型・真空成型型・樹脂型

各種機械木型

一級技能士 太刀川 善蔵 (昭14卒・町裏)

横浜市港北区新羽町2030 (045-541-2903)

佐藤歯科技工所

佐藤 道雄 (昭18卒・二の町京屋)

大田区大森中3-23-2 (03-763-6031)

新鮮・美味 豆腐製造販売

五十嵐 幸雄 (昭24卒 四の町)

市川市大和田3-5-14 (0473-23-1382)

この欄は会員の活動を紹介するための掲載料はいりません

会員通信

皆様からのお便り

本年八十六歳を迎えました。こ
などの総会に出られなかったのは
病気でなく、都合がつかなくなっ
たためです。次回は、ぜひ出席し
たいものです。(明39丸山フジ)

名簿をお送り下さいまして、厚
くお礼申し上げます。これだけ大
勢の名簿の作成は、さぞ大変なこ
とと、深くお察し申しあげると共
に、感謝に堪えません。お名前を
拝見しただけで、お懐しく存じあ
げます。(大10 石上リヤウ)

今年はずいぶん涼しい夏を
過している今日此の頃、片貝の作
者

柄は如何かしら、と案じておりま
す。先日は会員名簿誠にありがと
うございました。(大13 中川キサ)

私も名簿の中でも古い方で
全く長く生き残りましただものと
しみじみ思います。今後のご発展
を心より祈り上げます。(昭2 西山きみえ)

ご多忙中にも拘らず、わざわざ
名簿をお送り下さいまして、有難
うございました。会員の方々のお
名前を、おなつかしく、嬉しく拝
見いたしました。

名簿を拝見しまして、沢山の方
方が意外と近い所に住んでみえる
のに驚くとともに、なつかしい気
持でいっぱいです。こんな立派な
名簿ができたことに、深く感謝し
厚くお礼申し上げます。(昭8 村田ユキ)

なつかしい片貝会に出席させて
頂くことをいつも楽しみにしてお
ります。暑さの折異々ご自愛下
さい。(昭8 城取八重子)

いつもお世話になっております
ご案内の日がいつも休日になりま
すので、店が忙しく、出席させて
いたたくことができません。悪し
からず宜しく願ひ申しあげます

東京片貝会会計報告 (自昭和54. 4. 1 至昭和55. 3. 31)

収入 ¥1,836,507	支出 ¥1,836,507
前年度繰越額 323,515	会議費・会場費(7) 94,035
年会費(424名) 313,700	総 会 費 630,860
総 会 費 874,000	料理、会場費代 457,400
〔懇親会費(134)644,000〕	飲物、物代 89,500
〔祝儀・寄付(31)30,000〕	記念品、旅費 50,960
新 年 会 296,300	片貝 33,000
〔懇親会費(83)249,000〕	新 年 会 237,700
〔祝儀・寄付(8)47,300〕	会場費物引代 19,400
寄 付(3) 17,000	会 料 理・飲 物 159,350
寄 銀 行 利 息 11,026	福 印 刷 55,350
雑 収 入 966	福 印 刷 3,600
	会 報(20号700) 62,060
	郵 券・送 料 104,327
	事 務 用 品・手 当 31,160
	印 刷 代(はがき封筒) 20,150
	写 真 代 12,060
	県 人 会 花 の 会 35,700
	交 際 費 小 千 谷 先 生、秋 祭 武 見 先生
	交 通 費・雑 費 3,900
	次 年 度 繰 越 額 604,555

昭和55年6月15日
上記のとおり報告いたしま
す。
会計部 安達 道宗 大矢 福次
上記は適正且つ正確であることを認めます。
会計監査 小林 敬司 黒崎 孝造 神林 徳次

(昭13 塚本美恵)

すでに記憶の薄れた幼な友の名
を紙面でもさがすのもなつかしく思
います。片貝会の益々の発展を、
心から嬉しく思っています。お手
数かけて、名簿をお送りいただき
まして、有難うございました。(昭16 中野みちよ)

妹が子ども連れて上京しました
が、お盆の帰省ラッシュに入らる
前に、と帰りましたので、静かさ
が戻りました。よく田舎へ帰ると
みんなが一度にきてくれて、賑や
かななるのはよいが、帰ったあと



安達さんを悼む

54年の暮れから健康を害してい
た安達さんは、去る六月十一日に
遂に帰らざる人となった。私ども
がこの会を引き受ける最初から、
何くれとなく尽力されたばかりで
なく、会計の重責を六年間果して
いただいた。
会から花環と香料をあげ、弔意
を表わしました。

(昭35 山家恵美子)

はさみしてくね...と言われま
す。なるほどの感じがいたします。
総会にはなかなか行けそうにあ
りませんが、会報は楽しみに読ま
せていただいております。(昭29 宮下愛子)

夏が短かく、早々に秋を感じる
この頃でございます。
東京片貝会のみならず、発展の様
子が感じられ、役員一同のご努力
を感謝いたします。総会に出席で
きず残念に思っておりますが、あ
り名簿をお送り下さいまして、あり
がとうございました。

ふるさと会館一泊記

このたび、私は古稀の同級会が
あり、あわせて花火観覧席の竣工
式にご招待を受けていたので、郷
里へ出かけた。妻と一緒に。
これまで幾度か祭りの話を聞いて
いた妻も、現実になってみてその
すばらしさに、ただ感嘆しきりだ
った。十時の三尺玉を仰ぎ、更に
数えきれないほどの花火。終った
のは十一時近かった。
あんなに賑やかだった境内も、
急にひっそりとして、神苑にふさ
わしい静けさに戻った。会がこん
ど奇贈した、真新しい蒲団にくる
まって、温く故郷の夢を結んだ。

会員消息

松井平助さん(大6)は一の町
松岡洋服店の生まれ、国鉄で永年
勤めておられた。後中国にゆき、
帰国してからは、札幌で電気工事
の請負事業を経営された。順調に
業務も発展していたが、昭和39年
にスモン病を得て、郷里に帰られ
た。片貝に五年間おられたが、現
在は娘さんの嫁ぎ先の川越で、悠
悠自適の日常である。娘さんのご
主人は池田屋の方。

この度ふるさと会館の竣工に際
し、和室の床間に黒崎敬五郎さん
の立派な書を寄贈された。鑑賞を
おすめしたい。

私達が最初の客だった。
宿泊費は食事抜きで二千円、風
呂も沸かして下さる。何の気兼
ねもなく、足を伸ばして休めるの
はありがたいことだ。
夏休みには家族連れで、ここを
根拠地にして、キャンプ場で夜の
星を仰ぐのもよいだろう。天幕も
貸して下さるとのこと。詳しく
は会館へ問い合わせを。佐藤記
(上の写真・ふるさと会館)

あとがき

ふるさと便りの資料は、農協の
友田明石さんにお願ひして、関係
各氏から提供を受けました。厚く
お礼申します。このささやかな会
報が会員相互と、郷里との結びつ
きに役立つなら嬉しい限りです。